

酸化エチレン処理技術分野の進捗状況及び今後の予定について

1. 平成15年度の進捗状況

(1) ワーキンググループ(WG)開催経緯等

15年 7月15日	第1回WG開催
8月 6日	第2回WG開催
9月 2日	第3回WG開催
9月11日	実証試験要領の公表
9月11～25日	実証機関の募集
10月10日	第4回WG開催
10月16日	実証機関選定の公表
10月27日～11月7日	実証対象技術の募集(東京都)
12月15日	実証対象技術の選定(東京都)
16年 3月23日	第5回WG開催(東京都技術実証委と合同開催)

(WG検討員名簿は資料1-1-2参照)

(2) 実証機関と対象技術名

実証機関：東京都

実証対象技術：10技術の応募があり、以下の6技術を選定。

(技術概要は資料1-1-3参照)

- ・ エチレンオキサイドガス除外装置(触媒燃焼方式)
(開発者：三浦工業株式会社)
- ・ 卓上型酸化エチレン浄化処理装置(触媒燃焼方式)
(開発者：スリーエムヘルスケア株式会社)
- ・ 小型EO滅菌排ガス処理装置(触媒燃焼方式)
(開発者：株式会社日本触媒)
- ・ EOガス排出処理装置(触媒燃焼方式)
- ・ 酸化エチレン排出ガス処理装置(触媒燃焼方式)
(開発者：ムラキ株式会社)
- ・ 酸化エチレン処理装置(薬剤洗浄方式)
(開発者：株式会社パックス)

(3) 実証試験計画

上記(2)の6技術について策定。

(実証試験計画に定めるべき項目を資料1-1-4として添付)

2. これまでの事業の実施にあたっての特記事項

本技術分野では、爆発性のある酸化エチレンガスを使用するため、東京都技術実証委で指摘された実験装置の設計、組立及び実証試験の実施に当たって配慮が必要な事項をとりまとめ、公表を行った。(来年度の初め頃に、他の修正点も含めて実証試験要領を見直す予定。)

適切な実証試験計画が策定可能か(安全な実証試験が実施可能か)という観点での検討を十分に行ったため、実証対象技術の募集終了から実証対象技術を選定するまでに、長時間を要した。

3. 今後の予定

実証試験結果報告書を5月に公表する予定。

引き続き、平成16年度も本技術分野を対象技術分野とする予定。

実証機関の公募を5月目途に実施する予定。